

## 本 会 記 事

### 1. 昭和48年度総会ならびに研究発表会

四国植物防疫研究協議会昭和48年度総会ならびに研究発表会は、11月21日徳島合同庁舎（徳島市）において開催され、約120名が出席しました。

#### (1) 総 会

午前10時から開会され、昭和47年度会務報告が承認されたのち、規約の一部改正（第14条の会費、通常会員1,000円、特別会員20,000円、卸売関係または団体10,000円への値上げ）、昭和48年度事業計画ならびに予算が上程され、原案どおり承認されました。

#### (2) 協 議

午前11時から午後2時30分まで、①農業残留関係成績検討会の持ち方、②昭和49年度病虫害防除指針設定上の問題点と対策について協議が行われました。

#### (3) 研究発表会

午後2時45分から、つぎの15題の発表が行なわれました。

松崎征美：施設のピーマンに対するハスモンヨトウの被害

橋田信行・上森実・河野弘・高山昭夫：ハスモンヨトウの発生機構に関する研究 第3報 植物体のシュウ酸と寄主選択性

田窪亮三・尾崎幸三郎・岡本秀俊：カブラヤガの生存率と死亡要因について（予報）

以西信夫：早掘甘しよを加害するケラの被害について

尾崎幸三郎：最近におけるニカメイガの少発生現象とイネの栽培条件の変化との関係

高橋晋・吉川幸治郎・南条治彦・上田進・松本益美・サトイモのカンザワハダニの防除薬剤について

古谷真二・斉藤正：Rhizopus 属菌によるイネの苗立枯れとその防除

重松喜昭・橋泰宜・河野弘・土居隆洋・上森実：非水銀いもち剤の穂いもち防除効果に関する研究 第2報 防除効果に及ぼす品種の発病程度

重松喜昭・橋泰宜：愛媛県におけるトマト条斑病の発生について

浅野昌司・榊原啓高・北垣忠温：B T製剤の昆虫にたいする生物活性についての一考察

山下定利・岡田小太郎・須藤真平：クリ害虫に対する微粒剤の防除効果

尾崎幸三郎・大熊衛・岩部武司：ツマグロヨコバイおよび萎縮病に対するパダン剤の効果

吉岡幸治郎・松本益美：コガネムシ類の発生生態と防除に関する研究 第1報 野菜類におけるドウガネブイブイの被害実態

松本益美・吉岡幸治郎：サトイモ畑におけるミナミネグサレセンチュウの周年消長

柏木弥太郎：ハス褐斑病の薬剤防除

### 2. 明年度総会

昭和49年度の总会総会は、本年秋、高知県において開催の予定です。